

## 積水ハウス 土屋ホールディングスと資本業務提携 株式取得で事業拡大へ ～住宅の研究・開発分野等の連携で、協力関係を強化～

積水ハウス株式会社（代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：仲井 嘉浩、以下「積水ハウス」）は、株式会社土屋ホールディングス（代表取締役社長：土屋 昌三、以下「土屋ホールディングス」）と資本業務提携契約を3月14日に締結いたしました。

土屋グループは、1969年の創業以来、本社が所在する北海道を中心に、住宅産業を通じてお客様・社会・会社の“三つの人の公”のために物質的・精神的・健康的な「豊かさの人生を創造する」ことを企業使命感として事業に取り組み、住宅・リフォーム・不動産の3事業で安全・安心の住まいを提供しています。

積水ハウスと土屋ホールディングスの連結子会社である株式会社土屋ホームは、既に2025年1月より、共同建築事業「SI（エス・アイ）事業」<sup>※</sup>を開始しています。

本資本業務提携により、SI事業のパートナーの枠を超えて、経営資源・技術・ネットワークを相互で活用し、両社の更なる事業拡大を図ります。積水ハウスの全国展開力や技術革新力と、土屋ホールディングスの住宅における業界最高水準の高断熱・高気密の技術や品質へのこだわりを組み合わせることで、よりお客様のニーズに適した高付加価値の住宅を提供してまいります。

### ●本資本業務提携の内容

本提携により、土屋ホールディングスが2025年3月31日付で第三者割当による自己株式処分を実施し、積水ハウスが普通株式777,800株（発行済株式総数に対する割合3.02%）を取得する予定です。なお、積水ハウスは、本自己株式処分による普通株式の取得とは別に、ToSTNeT-1により土屋ホールディングスの既存株主が保有する土屋ホールディングスの普通株式合計808,000株を同年3月26日付で取得する予定です。

### 【日程】

- |                                |                |
|--------------------------------|----------------|
| ① 資本業務提携契約締結日                  | 2025年3月14日     |
| ② 積水ハウス 土屋ホールディングスの既存株主からの株式取得 | 2025年3月26日（予定） |
| ③ 積水ハウス 第三者割当による株式取得           | 2025年3月31日（予定） |

### 【主な業務提携】

- ・研究・開発分野：  
両社の固有技術やノウハウを活かした新技術の開発、更なる性能向上に向けた共同研究
- ・技術・施工分野：  
施工力の相互融通による生産性向上と施工力補完
- ・営業分野：  
共同の営業企画・プロモーションの実施、各事業における相互連携
- ・生産・調達分野：  
資材・調達・物流相互ルートを活用によるコスト削減

※SI事業：国内木造住宅の耐震性を強化する共同建築事業。積水ハウスが基礎、躯体、接合部を担い、積水ハウスグループの積水ハウス建設が施工し、外装や内装はパートナー企業が担い、地域に密着した強みを活かして販売を行います

【提携先企業】

会社名 : 株式会社土屋ホールディングス  
所在地 : 札幌市北区北9条西3丁目7番地  
上場区分 : 東証スタンダード市場、札幌市場上場  
創業 : 1969年6月  
設立 : 1976年9月  
資本金 : 7,114百万円 (2024年10月31日現在)  
売上高 (連結) : 33,278百万円 (2024年10月期)



(左) 株式会社土屋ホールディングス 代表取締役社長 土屋 昌三  
(右) 積水ハウス株式会社 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO 仲井 嘉浩